

## 令和5年度第1回公文書管理向上委員会 会議結果

開催日時：令和5年5月11日(木)

午後3時27分～午後4時17分

会 場：会議室棟1階 第2会議室

事案担当：情報公開・文書管理課（内線2215、3672）

[ 件 名 ] 令和5年度第1回公文書管理向上委員会について

[ 目 的 ]

公文書の管理状況に関する自己点検の内容及び点検項目について、承認をいただくもの。  
また、前回の公文書管理向上委員会（令和5年2月7日開催）後に実施した取組について、報告を行うもの。

[ 事 案 の 概 要 ]

- ・議題1件（公文書の管理状況に関する自己点検の内容及び点検項目（案）について）
- ・報告3件（令和4年度局、執行機関等を指定した定期調査の結果（最終）について他）

[ 会 議 経 過 ]

運営責任者（奈良総務局長）挨拶の後、報告事項及び議題について事務局である情報公開・文書管理課から説明を行った。

[ 意 見 等 ]

【次第3 相模原市公文書管理向上委員会及び令和5年度公文書監理計画について】

- 公文書科目表の整理を行うということだが、具体的に何をするのか。（前田農業委員会事務局局長）
- 個別名称が5000以上あり、選択誤りが多いため整理を行う。特に全庁で使用するものについて、摘要欄に保存する文書名など記載することで選びやすくしたい。今年度の調査結果で誤りが多かったものも、分かりやすく整理を行う。（湯田総括副主幹）
- 通知の際は、具体的にどの部分を変更するのか分かりやすくお知らせする必要がある。（奈良総務局長）

【議題（1）公文書の管理状況に関する自己点検の内容及び点検項目（案）について】

- 私は回答の対象外となるのか（関緑区選挙管理委員会事務局局長）
- 対象外となる。（湯田総括副主幹）
- 自主的に回答してもよいのではないか。（仙波南区選挙管理委員会事務局局長）
- 自主的に回答いただいても問題ない。集計時は除かせていただき、対象職員に絞って集計を行う。（湯田総括副主幹）
- 昨年度の回答率はどの程度か。（清原監査課長）
- 所属長は100%、一般職員は95%以上。回答期間を延長し、未回答の職員には回答を促

している。(湯田総括副主幹)

- 川村行政委員会事務局長が、個人情報に回答することについて、個人が特定できることを懸念していた。(清原監査課長)
- 回答いただいた氏名、所属、職員番号については、回答の有無の確認のみに使用する。(湯田総括副主幹)
- 長期休暇取得中の職員など対象外の職員を除いて対象者を提出し回答いただいているので、本来100%となることが望ましいと考えている。(樋口公文書監理官)
- 未回答の職員については、所属長に連絡があるのか。(清原監査課長)
- 一度は連絡している。(湯田総括副主幹)

【報告(1) 令和4年度局、執行機関等を指定した定期調査の結果(最終)について】

- 8個以上の助言があり追跡調査の対象となっている所属は、職員が多いことや、多忙であることも影響していると思うが、適正な公文書管理は事務の円滑な執行にも繋がるため、取組を徹底していただきたい。(奈良総務局長)
- 承知した。(高橋教育局長)

【報告(2) 相模原市公文書管理強化月間について】

- 情報公開・文書管理課の事務室に掲示する取組内容等を周知するポスターについて、各実施機関でも掲示したらよいのではないか。(奈良総務局長)
- カラー印刷して必要部数用意する。(湯田総括副主幹)
- 事務局からポスターを配布するので、掲示にご協力いただきたい。(奈良総務局長)
- 公印使用承認時の指摘事例として、文書管理番号は早く徹底していきたい。

【報告(3) 公文書監理官による職場巡視(令和5年4月～5月)の結果について】

<公文書監理官から補足説明>

巡視時に所属長が在席の場合は声を掛けたが、所属長の意識の差で公文書管理が決まると考えている。これまでの2年間の取組の結果、多くの所属長は公文書管理について意識している印象を受けたが、所属長席に書類が多い場合、話していても公文書管理への意識の低さを感じる。所属長の意識の高さが職員の意識につながる。

机上、足元に文書が多い場合、その多くが参考資料だったが、どれだけ活用できているか定かではない。情報は日々新しくなる他、参考資料には保存期間の設定がないため、整理が必要になる。また、人事異動の際に前任者から参考資料を引き継いだ場合も、整理が必要である。キャビネット内の参考資料については、管理者がいない場合もあり、1年間使用していない資料を廃棄するなど精査が必要である。

文書主任は、所属の文書管理において重要な役割である。作業の目的について事例を

交えて伝えていきたい。

昨年度までの取組で指摘を受けたという結果から、それを受けてどう改善しているかが今年の調査の視点になる。

- 古い参考資料は各自で判断しづらいため、参考資料について監理官から「捨ててよい」と後押ししてもらうことは必要。(奈良総務局長)

[結果]

公文書の管理状況に関する自己点検の内容及び点検項目について、案のとおり承認された。

[出席者]	奈良総務局長	高橋教育局長	清原監査課長 (代理出席)	関緑区選挙管理 委員会事務局長
	兼杉中央区 選挙管理委員会 事務局	仙波南区 選挙管理委員会 事務局長	前田農業委員会 事務局長	鈴木議会局長 (欠席)
	高橋税制・債権 対策課長	樋口 公文書監理官	情報公開・文書管理課 富樫課長 湯田総括副主幹 田中主任 伊東主事	